

| | | | |
|----------|---------------------|-------------------|--|
| 科目担当者氏名 | | 科目担当者連絡先(メールアドレス) | |
| (ふりがな) | わたなべ つとむ 渡邊 勉 | | |
| 連絡責任者氏名 | | 科目設置機関名 | |
| (ふりがな) | わたなべ つとむ 渡邊 勉 | 関西学院大学 社会学部 | |
| 授業科目名 | 科目認定番号 | 受講者数 | |
| 社会調査実習 I | 100719-0 KSGa-04 | 23 | |

I. 調査実習に関するコメント

Web調査をおこなうために、4月から4つの班に分かれて調査票の作成に取り組んだ。それと同時に大規模調査データ(JGSS)のデータを利用して、多変量解析の方法を学んでいった。調査票の作成と分析手法の獲得という2つの課題をおこなっていくことは、学生には負担が大きかったかもしれない。そのため調査票の作成に手間取り、調査の実施が11月と遅れてしまったが、その後データの分析を通じて、報告書の作成に取り組んでいった。分析の時間が十分とれなかった。しかし学生は、調査票の作成から予備的調査の実施、調査データの分析と報告書の作成までを一通り経験することができた。多変量解析による分析までに至らなかったため、2011年4月以降、さらに分析を進める予定である。

II. 調査の企画・設計(デザイン)

1. 調査のテーマ/領域: 社会階層とライフコースに関する調査、具体的には既婚女性のライフコース調査
2. 調査の内容/概要: 職歴、ライフコースなど社会階層に関する項目から、職業とライフコース、親子関係、夫婦関係などの関連を明らかにする。
3. 調査の範囲/対象(量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入): 受講生の両親、知人など。院一ネット調査会社のモニター507人。
4. 主な調査項目: ライフヒストリー(職歴、結婚歴、子育て、人生の転機、人生の節目)、夫婦関係(配偶者の仕事、配偶者との関係、夫婦関係の満足度)、家族(収入、父職、母職、子育て、家族構成、家族類型)、生活時間など(生活時間、自由時間の過ごし方、友人関係、悩みの相談先)。

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集(現地調査)の方法: 受講生による面接調査。インターネットを利用したWeb調査
6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数: 面接調査は8~9月。Web調査は11月。
7. 収集したデータの量と質への評価(量的調査の場合は有効回収票数及び回収率を必ず記入): 面接調査は40票。Web調査は516票。

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析/解釈の方法: クロス集計、カイ2乗検定。
9. 調査の成果(調査から得られた主な知見など): (1)生活時間の余裕のなさの理由は、コーホートによって異なる、(2)子供の頃の夢は、若い世代ほど女の子らしい夢を持っている、(3)父職は女性のキャリアに対しても影響を与えている、(4)女性の母親の生き方に対する評価は、二律背反的。
10. 報告書刊行の予定と概要: 基本報告書は2011年3月に刊行。内容は、クロス集計とカイ2乗検定を中心とした基礎集計である。さらに、2011年度に引き続き、分析を進め、多変量解析による分析をおこなう予定。

- <記入上の注意点>
1. 調査のテーマ毎に用紙を替えて(3つのテーマを立てて実施した場合は合計3枚に渡って)ご記入下さい。
 2. 最上部の*印の箇所には数字を(*/*)には、報告書が複数枚になる場合のみ、3枚中の1枚目なら1/3とご記入下さい。
 3. 全ての項目について具体的にご記入下さい。但し、1テーマ毎に印刷が必ずA4サイズ1枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず(設定してある通り)にして、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけましたら幸いです。
 4. 報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報をDB化することも検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。